

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

1.

しよめい	あおい目のこねこ	せいきゅうきごう	949/マ
かいた人	エゴン・マチャーセン/著 瀬田 貞二/訳	しゅっぱんしゃ	福音館書店
<p>ねずみのくにをさがしにでかけた、あおい目のこねこ。とちゅうで、きいろい目のねこたちにであいました。でも、なかなかよくなれません。</p> <p>ある日、きいろい目のねこたちがいぬにおそわれて…。</p> <p>さて、ぶじにねずみのくにをみつけることができるのでしょうか？</p>			

2.

しよめい	あたまをつかった小さなおばあさん	せいきゅうきごう	933/二
かいた人	ホープ・ニューウェル/作	しゅっぱんしゃ	福音館書店
<p>たまねぎを^{はたけ}畑までとりに行くのがたいへん。エプロンを作ろうとしたら、布^{ぬの}がたりない。小さなおばあさんは、どんなくふうをしたでしょう。「わたして、なんてあたまがいいんだろうねえ。」10このみじかいおはなしの本です。</p>			

3.

しよめい	王さまのアイスクリーム	せいきゅうきごう	933/ス
かいた人	フランセス・ステリット/ぶん 光吉 夏弥/やく 土方 重巳/え	しゅっぱんしゃ	大日本図書
<p>おとなも子どももだいすき！つめたくて、あまい、アイスクリーム。いったいどうやって、このよにうまれたのでしょうか？それは、とある^{くに}国の、きむずかしい王さまが^た食べる3じのおやつに、ひみつがあったのです。^よ読み終わったあとに、きっとアイスクリームが^た食べたくなる、たのしいものがたり。</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

4.

しよめい	おとこの子とおもっていた犬	せいきゅうきごう	933/ア
かいた人	コーラ・アネット/さく ウォルター・ロレイン/え 光吉 夏弥/やく	しゅっぱんしゃ	大日本図書
<p>ピーターはたんじょう日に子犬のラルフをもらっておおよろこび。ところがラルフはだんだんしっぽをふらなくなって、ほえなくなって、二本足で歩きはじめました。じつはラルフは自分のことを人間の男の子と思いこんでいたのです！ ある日、自分が犬だとわかったラルフは…。</p> <p>ゆかいなゆかいなおはなしです。</p>			

5.

しよめい	おばあさんのひこうき	せいきゅうきごう	913/サ
かいた人	佐藤 さとる/作 村上 勉/絵	しゅっぱんしゃ	小峰書店
<p>小さいえに一人でくらすあみもの上手なおばあさんがいました。ーばんのたのしみは、なにをあもうかとあれこれかんがえることでした。</p> <p>あたたかいあるのある日、手にとまったちょうちょを見て、そのうつくしいはねのもようをあむことにしました。ところが、おかしなことに、あみかけたちょうちょがふわふわとうかびはじめたのです…。</p>			

6.

しよめい	かいとうドチドチ どろぼうコンテスト	せいきゅうきごう	913/カ
かいた人	柏葉 幸子/作 ふくだ じゅんこ/訳	しゅっぱんしゃ	日本標準
<p>ドチドチは、むかし、ゆうめいな「とりかえっこどろぼう」でした。ぬすむかわりに、あい手がーばんほしいものをおいていく、かわったどろぼうです。太ってしまって、どろぼうをやめた今でも、どろぼうコンテストにはかならずよばれます。</p> <p>さて、今日もド・ヨクバーリだんしゃくのおしろで、どろぼうコンテストがはじまります！</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

7.

しよめい	かさをかしてあげたあひるさん 村山 籌子おはなし集	せいきゅうきごう	913/ム
かいた人	村山 籌子/作 山口 マオ/絵	しゅっぱんしゃ	福音館書店
<p>みじかいゆかいなおはなしが17話。あひるさんにじゃがいもさん、ライオンさんに大根さん…いろいろな動物や野菜たちがないたりわらったりと大いそがし。</p> <p>版画のさし絵も表情ゆたかでかわいらしく、読み聞かせはもちろん、はじめてのひとり読みにもおすすめです。</p>			

8.

しよめい	ガラスのうま	せいきゅうきごう	913/ソ
かいた人	征矢 清/さく 林 明子/え	しゅっぱんしゃ	偕成社
<p>ガラスのうまとあそびたくてしかたがなかったすぐりは、かざりだなからガラスのうまをおろそうとして、うまの足をおってしまいました。かなしそうなかおをしてかけたうまをおいかけて、すぐりはガラスのいきもののせかいへいくことに…。きらきらとした、ぼうけんのはじまりです。</p>			

9.

しよめい	きえた犬のえ (ぼくはめいたんてい1)	せいきゅうきごう	933/シ
かいた人	マージョリー・ワインマン・ シャーマット/ぶん マーク・シーモント/え 光吉 夏弥/やく 小宮 由/やく	しゅっぱんしゃ	大日本図書
<p>ネートはパンケーキが大すきな男の子。さがしものいろいろやじけんがおきると、たんてい用のぼうしをかぶり、コートをきてしごとにかかります。</p> <p>小さなヒントを見のがさず、するどいすいりてなぞをとっていくこのシリーズはながく子どもたちに読まれている人気本です。</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

10.

しよめい	きつね三吉	せいきゅうきごう	913/サ
かいた人	佐藤 さとる/作 岡本 順/画	しゅっぱんしゃ	大日本図書
<p>ある山のふもとのかじやに、親方^{おやかた}と二人の弟子^{でし}がいました。ある日、たびのおぼうさんがやってきて、弟子の一人がいなくなってしまう。その後、けがをしたきつねがかじやにやってきて…。</p> <p>よくある昔話^{むかしばなし}と思いきや、最後^{さいご}のどんでんがえしに、“えっ！”とびっくりするふしぎなお話。あいきょうのあるさし絵も必見。</p>			

11.

しよめい	きんようびはいつも	せいきゅうきごう	E/ヤ
かいた人	ダン・ヤッカリーノ/作 青山 南/訳	しゅっぱんしゃ	ほるぷ出版
<p>「ぼくはきんようびがだいすき。きんようびのあさはいつも、パパといっしょにうちを早くでるんだ。そして…」いそがしい日^{にち}じょうの中でもゆったりと同じ時間^{おなじじかん}を楽しむために、小さな行事^{ぎょうじ}をつづけるぼくとパパ。2人の楽しいおしゃべりが聞こえてくるような絵本^{えほん}です。</p>			

12.

しよめい	こいぬがうまれるよ	せいきゅうきごう	645
かいた人	ジョアンナ・コール/文 ジェローム・ウェクスラー/写真 つばい いくみ/訳	しゅっぱんしゃ	福音館書店
<p>おとなりのおうちで生まれたこいぬを、1ぴきもらうことになったわたし。でも、生まれたてのこいぬって、すごくちいさい！まだまだ、おかあさんのそばをはなれられません。</p> <p>ちいさなこいぬが、ほんとうに「わたしのこいぬ」になるまでを、いっしょにみていきましょう。</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

13.

しよめい	ゴインキョとチーズどろぼう	せいきゅうきごう	933/口
かいた人	エミリー・ロッダ/作 さくま ゆみこ/訳 たしろ ちさと/絵	しゅっぱんしゃ	あすなろ書房
<p>ネズミのゴインキョは、おたからのチーズをたくさんもっています。ある日、「きんきゅう」のてがみがとどいて、どろぼうにきをつけるようにとかいてありました。しんぱいになったゴインキョは、ガードマンをやとうのですが…チュウチュウ<small>とお</small>通りのゆかいななかまたちのシリーズです。</p>			

14.

しよめい	ごきげんいかががちょうおくさん	せいきゅうきごう	933/ポ
かいた人	ミリアム・クラーク・ポター/さく まつおか きょうこ/やく こうもと さちこ/え	しゅっぱんしゃ	福音館書店
<p>さあ、たいへん！ぶたさんとピンクさんがくるまでにごちそうをよういしないと！ がちょうおくさんはあわてて大きなレモンタルトをつくったけど、じぶんのぶんをつくりわすれてしまい…。 「レモンタルトのひみつ」のほかにも五つのおはなしがあるよ。</p>			

15.

しよめい	こねこのぴっち	せいきゅうきごう	E/フ
かいた人	ハンス・フィッシャー/文・絵 石井 桃子/訳	しゅっぱんしゃ	岩波書店
<p>りぜっとおばあさんの家<small>いえ</small>でくらすこねこのぴちは、ある日、ほかのこねこたちとはちがうことをしてみようと外<small>そと</small>のせかいに出かけます。ところが、出会<small>であ</small>ったどうぶつたちのまねをしているうちにこわい思<small>おも</small>いをする事になり…。 好奇心<small>こうきしん</small>旺盛<small>おうせい</small>なぴっちの表<small>ひょう</small>情<small>じょう</small>や動<small>うご</small>きが何<small>なに</small>ともかわいらしい！60年以上にわたって子どもたちから愛<small>あい</small>されてきた絵本<small>えほん</small>です。</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

16.

しよめい	こぶたのピクルス	せいきゅうきごう	913/コ
かいた人	小風 さち/文 夏目 ちさ/絵	しゅっぱんしゃ	福音館書店
<p>ピクルスは、げんきなこぶたのおとこの子です。学校へ行く時間、わすれ物がないかてんけんします。でも、いちばんだいじなことをわすれちゃった…。またある日、おつかいでたまごをかってかえるとき、とびはねて、はくしゅをしたピクルス。たまごはどうなったでしょうか？</p>			

17.

しよめい	こんにちはといっぺごらん	せいきゅうきごう	933/シ
かいた人	マージョリー・W・ シャーマット/作 リリアン・ホーバン/絵 さかの やよい/訳	しゅっぱんしゃ	童話館出版
<p>ねずみの女の子・バネッサには友だちがひとりもいません。「こんにちは」もいえません。ある日、お母さんからアドバイスを受けて、バネッサは「こんにちは」を言ってみることにしました。すると…。</p> <p>少しずつ成長するバネッサの姿、そして、初めての友だちづくりを見守るお母さんの温かさに、読んでいて心がほっこりします。</p>			

18.

しよめい	3人のまじよとドラゴン	せいきゅうきごう	913/オ
かいた人	おおとも やすお/作・絵	しゅっぱんしゃ	偕成社
<p>森の中で一緒に暮らす3人の魔女は、空を飛ぶ練習中です。ドラゴンに乗りかっこよく空を飛ぶ、大魔女の「ドラドラばばさま」を見てドラゴンがほしくなった3人は、ねずみに変身してドラドラばばさまのお屋敷から卵を盗みだしたのですが…。</p> <p>「3人のまじよとドラゴン」シリーズ、最初の作品です。</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

19.

しよめい	ジェインのもうふ	せいきゅうきごう	933/ミ
かいた人	アーサー・ミラー/作 アル・パーカー/絵 厨川 恵子/訳	しゅっぱんしゃ	偕成社
<p>ピンクのもうふは、ジェインが生まれたときからの たいせつなだからもの。いつもいっしょにねむるから、ジェインが、がっこうにはいるころには、ボロボロになってしまいました。あるひ、そのピンクのもうふとのおわかれのひがやってきます。</p>			

20.

しよめい	しっぱいにかんぱい!	せいきゅうきごう	913/ミ
かいた人	宮川 ひろ/作 小泉 るみ子/絵	しゅっぱんしゃ	童心社
<p>たつやのおねえちゃんは運動会のリレーの選手。おねえちゃんのかつやくで「チームはゆうしょうだ!」とおもったら、おねえちゃんの失敗でなんと、チームは失格になってしまふ。おちこむおねえちゃんを家族はなんとかしてはげまそうと、あるけいかくをたてます。</p>			

21.

しよめい	しゃべる詩 あそぶ詩 きこえる詩	せいきゅうきごう	911
かいた人	はせ みつこ/編 飯野 和好/絵	しゅっぱんしゃ	富山房
<p>谷川俊太郎、まど・みちお、与謝野晶子、草野心平など、たくさんの詩人の作品がぎゅっとつまっています。室生犀星の「キンギョのうた」で金魚のシュールな姿を思いうかべ、工藤直子「こころ」で少しセンチメンタルになってみたり…。ぜひ、おうちで声に出して読んでみてください。</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

22.

しよめい	じよやのかね	せいきゅうきごう	E/ト
かいた人	とうごう なりさ/さく	しゅっぱんしゃ	福音館書店
<p>おおみそか よる 大晦日の夜、「ぼく」はパパと一緒に除夜の鐘をつくため、お寺に向かいます。眠くなんてありません。「新しい年が来るのを絶対見逃さないぞ」と心に決めているからです。「ぼく」の緊張感と大晦日ならではの光景が、モノクロの版画によって見事に表現されている絵本です。</p>			

23.

しよめい	すみれちゃんのおついなつ	せいきゅうきごう	913/イ
かいた人	石井 睦美/作	しゅっぱんしゃ	偕成社
<p>ママは、いもうとのかりんちゃんのおせわばかりをたのむからすみれちゃんは、いえでをしようとおもいつきました。ママにぶつかりながらも、おねえちゃんとしてせいちょうできる夏になるのでしょうか？</p>			

24.

しよめい	そうのたまごのたまごやき	せいきゅうきごう	913/テ
かいた人	寺村 輝夫/著	しゅっぱんしゃ	理論社
<p>たまごやきがだいすきな王さまのうちに、かわいい王子さまがうまれました！国じゅうの人たちをあつめて、おいわいすることになりましたが、ごちそうのたまごやきをつくるには、たまごがたりません。王さまは、大きなそうのたまごをもってくればいい、とかんがえますが…。</p>			

25.

しよめい	だって春だもん	せいきゅうきごう	E/コ
かいた人	小寺 卓矢/写真・文	しゅっぱんしゃ	アリス館
<p>もり つめ ゆき 森は冷たい雪の中。でも、木々の芽も草たちもどんなに小さな生き物も、はじめから知っています。そう、もうすぐ春が来ることを。 ページをめくるとあらわられるのは、せいめいりよく 生命力あふれる写真と躍動する言葉たち。春を待つ季節にぴったりな一冊です。</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

26.

しよめい	棚田を歩けば	せいきゅうきごう	616
かいた人	青柳 健二/文・写真	しゅっぱんしゃ	福音館書店
<p>私達^{わたしたち}がいつも食^たべている“おこめ”。おこめは平^{たい}らな土^{とち}地^ちだけでなく、びっくりするよ うな山の上やせまい谷^{たに}にも作^{つく}られています。急^{きゅう}な勾^{こう}配^{ぱい}のある土^{とち}地にまるで階^{かい}段^{だん}のよう につくられた田^たんぼのこ^{こと}を棚^{たなだ}田^だとい^いいます。この本^{ほん}には自^し然^{ぜん}と人^{ひと}がいっしょにな^なって作^{つく}りあ げ^あげ^あた美^{うつく}しい棚^{たなだ}田^だの写^{しゃ}真^{しん}がた^たくさ^{さん}の^のつ^つてい^います。また、農^{のう}家^かの^いち^{ねん}かん^{かん}の^のコ^こメ^め作^{つく}り^しを^を知^し る^るこ^ことも^もで^でき^きます。</p>			

27.

しよめい	たらふくまんま	せいきゅうきごう	913/バ
かいた人	馬場 のぼる/さく・え	しゅっぱんしゃ	こぐま社
<p>かみもひげもぼうぼうの「たらふくまんま」は、なんでもばくばく食^たべる山^{やま}男^{おとこ}。ふも との村^{むら}にあらわ^われては食^たべ^べもの^のを^をあ^あさ^さつ^つて^てい^いき^きます。こ^こま^まつ^つた^た村^{むら}人^{びと}た^たち^ちは^はな^なん^んと^とか^か、^たい じ^じし^しょう^{しょう}と^とす^する^るの^ので^です^すが^が…。や^やっ^っか^かい^いも^もの^の「たらふくまんま」を^をた^たす^すける^る「^こん^びら^ら子^こ」 と^との^のや^やり^りと^とりが^がほ^ほの^のぼ^ぼの^のと^とわ^わら^らえ^える^るお^お話^{はなし}です。</p>			

28.

しよめい	たんたのたんけん	せいきゅうきごう	913/ナ
かいた人	中川 李枝子/さく 山脇 百合子/え	しゅっぱんしゃ	学研
<p>きょうは、たんたの5さいのたんじょうび。どこからか、たんけんのちずがとどきまし た。「きりんのまつがあって、うしのしっぽ川をわたって、ど^どん^んど^どんの^のぼ^ぼると^とわ^わに^にの^の石^{いし}…」 さあ！ちずをもつてたんけんのはじまりです。</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

29.

しよめい	てのひらかいじゅう	せいきゅうきごう	487
かいた人	松橋 利光/しゃしんとぶん	しゅっぱんしゃ	そうえん社
<p>うらにわでみつけた、カナヘビ・トカゲ・ヤモリ。このちいさないきものたちを、うんとちかくでみてみると…かいじゅうそっくり！このちいさなてのりかいじゅうは、どんないきものだろう？どうしたらなかよくなれるかな？</p> <p>みんなのちかくにもきっとかかっている、てのりかいじゅうたちのことがよくわかるいっさつです。</p>			

30.

しよめい	どうぶつがすき	せいきゅうきごう	E/マ
かいた人	パトリック・マクドネル/さく なかがわ ちひろ/やく	しゅっぱんしゃ	あすなろ書房
<p>生きものが大好きで好奇心たっぴりの女の子ジェーンは、なんでも「観察」をします。クモが巣をはる様子、にわとりがたまごを産む瞬間など、しんぼう強く何時間も。そんな少女の大きな夢は…。</p> <p>誰もやらなかったことにためらわず挑戦し、夢を持ち続け、それをかなえた勇気ある女性「ジェーン・グドール」の伝記絵本です。</p>			

31.

しよめい	どこにいるのイリオモテヤマネコ	せいきゅうきごう	489
かいた人	横塚 眞己人/写真・文	しゅっぱんしゃ	小学館クリエイティブ
<p>沖縄県西表島だけに住んでいるイリオモテヤマネコ。私たちの近くで暮らしているイエネコと似ているけれど、ちょっと違う？</p> <p>いまだ謎の多いイリオモテヤマネコを10年間追いつけた写真家が見つけた、イリオモテヤマネコと西表島の豊かな自然との繋がりをまとめた一冊です。</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

32.

しよめい	とらとおじいさん	せいきゅうきごう	929
かいた人	アルビン・トセルト/ <small>ぶん</small> 光吉 夏弥/ <small>やく</small> アルバート・アキノ/ <small>え</small>	しゅっぱんしゃ	大日本図書
<p>とらをおりから<small>たす</small>けてあげたおじいさん。そのおじいさんを、とらは食<small>た</small>べてしまおうとします。とらが、だれかひとりでも「そんなのはむちゃだ！」と<small>い</small>ってくれるひとがいたら、たべるのをやめてやると<small>い</small>うので、おじいさんはさがしに出かけるのですが…。</p> <p>おじいさんはどうなってしまうのでしょうか？</p>			

33.

しよめい	どれみふあけろけろ	せいきゅうきごう	913/ヒ
かいた人	東 君平/作	しゅっぱんしゃ	あかね書房
<p>けろけろうたって、すいすいおよぐ、たのしいかえるの<small>がっこう</small>学校にきてみませんか？およげなくてもだいじょうぶ。もちろん、あなたがかえるじゃなくっても。りっぱなかえるになりたいきもち、これがだいじです。さあ、ゆかいな先生やクラスメイトたちといっしょに、ちょうせんしてみましよう、けろっ。</p>			

34.

しよめい	なぞなぞあそびうた	せいきゅうきごう	911
かいた人	角野栄子/ <small>さく</small> スズキコージ/ <small>え</small>	しゅっぱんしゃ	のら書店
<p>みなさんのよく知<small>し</small>っている「みぢかなもの」のなぞなぞがたっぴりたのしめる本です。1かいめはさし<small>え</small>絵<small>み</small>を見ず、2かいめは絵<small>え</small>も見<small>み</small>ながらちょうせんするのがおすすめ。詩<small>し</small>のようになっているので、リズムカルに、うたうようによんでみましよう！</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

35.

しよめい	なぞなぞのすきな女の子	せいきゅうきごう	913/マ
かいた人	松岡 享子/さく	しゅっぱんしゃ	学研
<p>あるところに、とてもなぞなぞのすきな女の子がいました。毎日^{まいにち}なぞなぞをするので、おかあさんはくたびれてしまって、だれかべつの人をさがしてやりなさいと女の子にいいました。女の子は、^{もり}森へとさがしにでかけますが、であったのは子どもを^た食べるはらぺこのオオカミで…。</p>			

36.

しよめい	にんきもののひけつ	せいきゅうきごう	913/モ
かいた人	森 絵都/ぶん 武田 美穂/え	しゅっぱんしゃ	童心社
<p>クラスの「こまつくん」。バレンタインデーにはチョコを27こもらった！なのにぼくにはねだんシールのついたチョコが1こ。どうしてそんなににんきがあるの？イケメンでスポーツがとくいで勉強^{べんきょう}もできるから？いやいや、にんきもののひけつがきっとあるはず。ようやく^み見つけたにんきもののひけつとは…</p>			

37.

しよめい	ねこが見た話	せいきゅうきごう	913/タ
かいた人	たかどの ほうこ/さく 瓜南 直子/え	しゅっぱんしゃ	福音館書店
<p>小さな家にひっこしてきた3人^{かぞく}家族。とてもせまい家ですが、ゆか下にはキノコがたくさんはえています。キノコの^{てん}天ぷら、キノコのみそしる…。キノコを毎日^{まいにち}食べているうちに、^{かぞく}家族のすがたが少しずつかわります。さて、この^{かぞく}家族どうなるのでしょうか？この本には「ねこ^みが見た^{はなし}話」が4つのっています。</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

38.

しよめい	はなのすきなうし	せいきゅうきごう	E/リ
かいた人	マンロー・リーフ/おはなし ロバート・ローソン/え 光吉 夏弥/やく	しゅっぱんしゃ	岩波書店
<p>むかし、スペインにフェルジナンドという、かわいい牛がいました。ほかの牛は毎日げんきに遊んでいましたが、フェルジナンドはしずかに花のにおいをかいでいるのが好きでした。ある日、フェルジナンドはマドリードにつれていかれることになり…。</p> <p>好きなものは好きなもの。自分らしく生きていく牛のおはなしです。</p>			

39.

しよめい	番ねずみのヤカちゃん	せいきゅうきごう	933/ウ
かいた人	リチャード・ウィルバー/さく 松岡 享子/やく 大社 玲子/え	しゅっぱんしゃ	福音館
<p>人間の家の壁^{かべ}と壁^{かべ}のすきまにこっそり住んでいるねずみ一家。お母さんねずみの心配は、「やかましやのヤカちゃん」とよばれるほど声の大きい末っ子ねずみのこと。</p> <p>はたしてヤカちゃんは無^ぶ事^じにひとり立ちできるのでしょうか…？</p>			

40.

しよめい	ビロードうさぎ	せいきゅうきごう	933/ウ
かいた人	マージェリィ・ウィリアムズ/ぶん 石井 桃子/やく ウィリアム・ニコルソン/え	しゅっぱんしゃ	童話館
<p>長い間たいせつにかわいがってもらったおもちゃは、『ほんとうのもの』になると言われています。</p> <p>すりきれても、よごれても、それでも大^{だい}事^じにしていたら、そのおもちゃには『子ども部^べ屋^やの魔法^{まほう}』がかかるのです…。</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

41.

しよめい	ふたりはいっしょ	せいきゅうきごう	E/□
かいた人	アーノルド・ローベル/作 三木 卓	しゅっぱんしゃ	文化出版局
<p>おもしろいことを思いつく がまくんと、やさしい かえるくんは、いつもいっしょ。せっかくなつたよていひょうが 風にふきとばされてしまい、次に何をしたらいいかわからなくなってしまうお話「よていひょう」など、2人のたのしいお話5話がのっています。</p>			

42.

しよめい	ほんはまっています のぞんでいます	せいきゅうきごう	010
かいた人	かこ さとし/著	しゅっぱんしゃ	童心社
<p>「あなたは本が好きですか。」 「好きだよ」と答える人にも、「でもね…」という人にも、^{ちよしゃ}著者のかこさとしさんは、本が読みたくなったらどうしたらいいか、どこへ行けばいいかを^{やさ}優しく語りかけます。 「本はあなたがそばにきて読んでくれるのを^{のぞ}望んでいる」という子どもたちへのメッセージは、大人の心にも^{ひび}響きます。1985年刊の^{さいかん}再刊。</p>			

43.

しよめい	ポンちゃんはお金もち	せいきゅうきごう	913/夕
かいた人	たかどの ほうこ/さく・え	しゅっぱんしゃ	こぐま社
<p>今日は、はらっぱ公園にゆうえんちがくるとくべつな日。それなのにテストの点がわるかったコートはへやでべんきょうをしていなければなりません。 すると、まどのそとにポンちゃんという知らない男の子がきて、コートをはらっぱ公園にさそいます。ポンちゃんはコートのこと、お母さんのことも知っているみただけけれど、一体だれなのかわかりません。ポンちゃんのしょうたいは…？</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

44.

しよめい	みしのたくかにと	せいきゅうきごう	913/マ
かいた人	松岡 享子/作 大社 玲子/絵	しゅっぱんしゃ	こぐま社
<p>ある日ふとっちょおばさんは小さなたねをにわにまき、『あさがおかもしれない、すいかかもしれない、とにかくたのしみ』と書いたふだを立てました。ところがそれを見た王子さまは「みしのたくかにと」とぎゃくに読み、おまじないのような気がして…。</p> <p>一つぶのたねからはじまるよろこびいっぱいのお話です。</p>			

45.

しよめい	ももいろのきりん	せいきゅうきごう	913/ナ
かいた人	中川 李枝子/さく 中川 宗弥/え	しゅっぱんしゃ	福音館書店
<p>るるこがももいろの大きな紙から作った、世界一きれいなキリン『キリカ』。るるこはキリカと一緒^{いっしょ}にクレヨン山へ向かいます。でも、そこではオレンジ色のくまがクレヨンの木をひとりじめしていました。</p> <p>絵本ではない読みものの本の^{だい}第一歩目におすすめします。</p>			

46.

しよめい	6この点 点字を発明したルイ・ブライユの おはなし	せいきゅうきごう	E/ブ
かいた人	ジェン・ブライアント/文 ボリス・クリコフ/絵 日当 陽子/訳	しゅっぱんしゃ	岩崎書店
<p>19世紀パリの王立^{もう}盲学校に通っていたルイは、幼いころから「読み書きをしたい」という強い思いを持っていました。そして15歳^{さい}の時、ついにルイは、6個の点の組み合わせによって、目が見えなくても読み書きができる文字を作り上げたのです。</p> <p>世界中の目の見えない人たちに使われている「点字」を発明したルイ・ブライユの少年^{えが}時代を描いた伝記絵本。</p>			

小学生向け（1～2年生むけ）おすすめ本

47.

しよめい	わたしのおかあさんは 世界一びじん	せいきゅうきごう	933/ラ
かいた人	ベッキー・ライアー/ぶん 光吉 郁子/やく ルース・ガネット/え	しゅっぱんしゃ	大日本図書
<p>^{むぎばたけ}麦畑でねむってしまっ^{まいご}て、迷子になったワーリヤ。「わたしのおかあさんは、世界一びじん！」と言うワーリヤのために、村じゅうの美人のおかあさんが集められますが、なかなかおかあさんはみつかりません。そこへひとりの女の人がかけてきて…。</p> <p>大好きな人のことを思う気持ちが伝わってくる、心あたたまるお話です。</p>			

48.

しよめい	わにのわいた	せいきゅうきごう	933/ド
かいた人	マーガリット・ドリアン/ぶんとえ 光吉 夏弥/やく	しゅっぱんしゃ	大日本図書
<p>はいしゃさんってこわいところ？バスにのってはいしゃさんにいくことになったどうぶつえんのわにのわいた。バスでであったぼうやといっしょにいるうちに、ほんとうはなににこわがっているのかわかってきました。いたいほもぶじになおるのでしょうか？</p>			

49.

しよめい	ゆらゆらチンアナゴ	せいきゅうきごう	487
かいた人	横塚 眞己人/しゃしん 江口 絵理/ぶん	しゅっぱんしゃ	ほるぷ出版
<p>ここはすいぞくかん。すいそうの^{そこ}底にある^{すな}砂からかおをだしたのは…？そう、チンアナゴです。細長いけどミミズでもヘビでもありません。ちゃんとお魚さんのなかまでです。そんなふしぎなチンアナゴのくらしをのぞいてみませんか？</p>			